



## 2017. World Supersport Championship

round - 7 Italy June 16-17-18

大久保光一予戦 33 番手 決勝 15 位

最後尾スタートながらポイントゲット！！

World Supersport Championship (WSS) の第 7 戦はイタリアのミサノ・ワールド・サーキット・マルコ・シモンチェリで開催されました。イタリア共和国英美ら、ローマニャ州のアドリア海沿岸の町、ミザノにあるサーキットです。バリエーション豊かなコーナーが連続し、ライダーにとっては攻めがいのあるコースです。3日間を通して晴天に恵まれ熱戦が繰り広げられました。

大久保は初日のフリー走行で 10 番手と僅差の 11 番手となりスーパーポール2に進めず、スーパーポール1で、上位進出を狙い果敢に攻めますが、赤旗中断後の残り 10 分のアタックラップに転倒してしまいタイム更新ならずで、33 番手で最後尾グリッドとなってしまいます。決勝では、スタートダッシュが決まり、前に出ること成功したのですが、スタート直後の 2 コーナーでイン側にいるライダーがハイサイド、なんとか持ちこたえて転倒には至らなかったのですが、大久保はその影響で、またしても後方へと追いやられてしてしまいます。更にカウルに穴が開くという事態になり、再び追いつきのレースとなりました。大久保は怒涛の追いつきを見せ 15 位まで浮上し、貴重なポイントを得ることが出来ました。現在、ランキング 12 位で、Honda 勢の中では 3 番手につけています。まずは、Honda でのトップをめざし、念願の表彰台獲得に向けて後半戦に向かいます。

大久保光

「ミサノは好きなコースで、楽しみにしていたラウンドでもあり、実際に調子も輪来るはなかったのですが、スーパーポール2に進出することが出来ずに最後尾となってしまいました。転倒した時にサスペンションの状況がおかしく、右コーナーはいいのですが、左コーナーでは、うまく動かなくて、思うようなライディングが出来ないという状況がわかっていたのですが、決勝朝フリーで見てもらいましたが、解決できずに、そのまま決勝を走りました。転倒しそうになったライダーとの接触でカウルに穴が開いてしまいましたが、それは、大きくライディングに影響しなかったのですが、ひたすら追いつき、なんとかポイントを取ることが出来ました。レースウィークを通して、しっかり積み上げていることが大事だと反省しています。スーパーポール2にしっかり残り、タイムアタック出来る状況を作り、トップ争いに加わるレースが出来るようにと思っています」

帰国後は、全日本ロードレース選手権第5戦オートボリスに、第4戦ツインリンクもてぎの公式予選で転倒し、左の人差し指を骨折、中指を痛めた au & テルル・Kohara RT の秋吉耕佑の代役として JSB1000 に参戦することになりました。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1\_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

